豊田工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	保健体育ⅡA

科目基礎情報

科目番号	02101	科目区分	一般 / 必履修，選択必修（体）
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	環境都市工学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「ACTIVE SPORTS」（大修館書店）　「学生の健康科学」（鈴木製本所）／プリント　ビデオ教材		
担当教員	髙津 浩彰		

到達目標

(ア)仲間と協力してスポーツテストとスポーツ種目が実施できる。
(イ)得意な泳法で３分間泳ぐことができる。
(ウ)喫煙・飲酒・薬物の健康への影響について理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力して授業を実施できる。	クラス内のメンバーと協力して授業が実施できる。	協力して授業がが実施できない。
評価項目２	得意な泳法で３分間でより長い距離を泳ぐことができる。	得意な泳法で３分間泳ぐことができる。	得意な泳法で３分間泳ぐことができない。
評価項目３	喫煙・飲酒・薬物の健康への影響について理解し、その利用について自分の考えを述べることができる。	喫煙・飲酒・薬物の健康への影響について理解できる。	喫煙・飲酒・薬物の健康への影響について理解できない。

学科の到達目標項目との関係

本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

教育方法等

概要	２年生前期では、自分の能力を知るためにスポーツテストを実施する。競技種目では、集団スポーツのラグビーを行うことによって様々な能力を育成する。育成する能力は、複雑な動きの中で状況を判断する能力、チームの一員として活動する能力、会話によるコミュニケーション能力である。水泳では、基本的な泳法で一定の距離を泳げるようにしたり、一定のタイムで一定の距離を泳げるようにする。　保健体育講義では、喫煙の健康への影響と飲酒の健康への影響を理解し、将来の健康維持に役立てる。
授業の進め方・方法	
注意点	ジャージを着用し、使用施設にあったシューズを使用する。ピアス、指輪、ネックレス等は外すこと。携帯電話・スマートフォンは授業中に扱わないこと。爪は切っておくこと。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	スポーツテスト（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走）	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走の測定を実施することができる。
		2週	スポーツテスト（50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ）	50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの測定を実施することができる。
		3週	スポーツテスト（シャトルラン）	シャトルランの測定を実施することができる。
		4週	ステップ（サイドステップ、クロスステップ、スワーブ）	対人スキルであるステップの方法を理解することができる。
		5週	パスゲーム（パスカットゲーム、コーナーボール、２対１、２対２、３対２、３対３）	パスを使って簡易ゲームを行うことができる。
		6週	タグバスケットボールゲーム	個人スキルを使ってラグビーボールを使ってバスケットボールのゲームを行うことができる。
		7週	サインプレー（カットイン、カットアウト、ループ、クロス）	複数人で協力してラグビーで使うサインプレーを行うことができる。
		8週	タグラグビーゲーム	タグラグビーのルールをゲームを通して理解できる。
	2ndQ	9週	タグラグビーゲーム	タグラグビーのゲームで、個人スキル、チームスキルを使うことができる。
		10週	タグラグビーゲーム	グループのメンバーと協力して、勝敗を意識しながらタグラグビーのゲームを実施することができる。
		11週	水泳（水泳の基本　息つぎ・足と手の使い方）	泳ぐための基本動作について理解できる。
		12週	水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライのいずれかの泳法を用いて泳力を測定する。）	３分間でより長い距離を泳ぐことができる。
		13週	水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライのいずれかの泳法を用いて泳力を測定する。）	３分間でより長い距離を泳ぐことができる。
		14週	喫煙・飲酒の健康への影響（喫煙の害、受動喫煙、アルコールの害、アルコールと脳の関係）	喫煙・飲酒の健康への影響を理解し、自分の意見を述べることができる。
		15週	薬物の健康への影響（薬物の害）	薬物の健康への影響を理解し、自分の意見を述べることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前5,前9
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前6,前10

				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前7,前8

評価割合

	スポーツテスト	水泳	実技課題	保健	合計
総合評価割合	10	20	50	20	100
基礎的能力	10	20	50	20	100